



ハイライトよねやま 195

2016年6月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年度の送金はお早目にお願いします —

5月までの寄付金は前年同期と比べ5.2%増、約6,800万円の増加です。普通寄付金が1.3%増、特別寄付金が7.0%増となりました。今年度も昨年度に引き続き、14億円を越す寄付収入がほぼ確定的となりました。ご支援いただきました皆様に心より感謝いたします。**寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日（木）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。**ご送金は、日程に余裕を持ってお送りくださいますよう、今年度最後のご協力をお願い申し上げます。

理事会開催報告 — 来年4月採用数は40人増の780人に —

6月9日に第11回理事会が開催され、全国から28人の理事と監事3人が出席しました。

主な議題として、内閣府立ち入り検査での改善事項に基づく定款・諸規定の改定の件や、2017学年度奨学生採用数の件、2016年度の事業計画案および収支予算案の件、役員候補者指名委員選任の件、株式受領の件などが審議されました。

概ね原案通り承認されましたが、「2016年度収支予算案」については、システム関係費を除いての承認となりました。システム開発については一時凍結の上、専門小委員会を組織して、抜本的な見直しを行うことになりました。

本理事会での承認を受け、2017年4月採用の奨学生数は、好調な寄付実績を反映して、前年度比40人（枠）増の780人（枠）とすることが決定しました。



初代よねやま親善大使・楊小平さんの退任に感謝状贈呈

初代よねやま親善大使として、3年間にわたって活動してくださった楊小平さん（2011-12/東広島21RC）が、今月で任期満了を迎え、退任されます。2013年3月、当会が事業創設60周年を記念して募集した「優秀米山学友賞」に、楊さんは80人を越える応募者の中から選ばれ、同年5月から初代“よねやま親善大使”として活動をスタート。よねやま親善大使の任期は2年間ですが、楊さんには1年間延長していただきました。この3年間で、全国30カ所以上の地区・クラブをまわり、卓話やロータリアン、学友・奨学生との交流を通じて、当会事業への理解を広げることに尽力していただきました。



6月9日、理事会前に開かれた楊さんの退任セレモニーでは、全国の理事が見守る中、当会の小沢一彦理事長より楊さんに、感謝状が贈呈されました。楊さんは「全国のロータリアンや奨学生と触れ合い、より深くロータリーを理解できたと思う。充実し、学びの多い3年間だった。これからの人生も、米山学友の自覚を持って生きていく。立派な社会人となったあかつきには、自分もロータリアンになりたい」と、思いを込めて語っていただきました。

ソウル国際大会に米山学友が大集合！

5月28日～6月1日、国際ロータリー年次大会がソウルで開催され、米山記念奨学会では2004年の大阪、2012年のバンコクに続き「友愛の家」にブース出展するとともに、初めての「分科会」を開催しました。今大会には地元・韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各国から多くの米山学友が参加してくれました。学友もロータリアンも「ロータリー」という大きな家族を感じて絆を深めたこのソウル国際大会でのハイライトをご報告します。

【ブース】5月28日～6月1日

米山ブースには連日、多くのロータリアンと学友が来てくださいました。常にブースの外に人があふれている状況で、その様子は、国際ロータリー／Rotary Japanのニュースになるほどでした。韓国学友が民族衣装を着て手伝ってくれたほか、よねやま親善大使も、事業の紹介に大活躍でした。メッセージボードには米山に対する熱い思いが並び、ブースの目玉となりました。3人の元RI会長からもメッセージをいただきました。多くの方のご来場に心から感謝いたします。

【学友合同懇親会 in Seoul】5月28日 18:30～22:00

各国から集まる米山学友と日本のロータリアンとの交流を深めようと、韓国学友会と各国学友会が合同で企画した懇親会が、ソウル市内のホテルで開催されました。学友165人、そのほかロータリアンや家族など参加者は総勢333人！満席の会場は終始熱気にあふれ、各国学友会の楽しい余興も披露され、最後まで参加者を楽しませました。最後は恒例の「手に手つないで」でフィナーレ。300人を超える大団円に、学友とロータリアンの絆が一層強まった素晴らしい懇親会でした。

【学友レセプション】5月29日 13:30～15:00

KINTEX内で開かれたRI主催の学友レセプションには、青少年交換やローターアクトに参加した学友とともに米山学友も多数参加。総勢150人ほどのうち、米山学友は半数以上を占めました。マレーシアの学友が集まって、学友会設立に向けて結束を固めるなど、新たな出会いと交流が生まれました。

【分科会】5月30日 15:30～17:00

米山史上初の「分科会」が開催されました。初公開のオープニング映像の後、台湾の林華明さん、モンゴルのジャンチブ・ガルバドラツハさん、中国の姫軍さんによるスピーチ、そして、台湾・中国・タイ・モンゴル・韓国の各学友会会長が活動報告をしました。約200人の来場者は、学友と日本のロータリアンがほとんどでしたが、興味をもって聞きに来てくれた海外のロータリアンの姿もありました。韓国語の同時通訳は、プロの通訳者として活躍する韓国学友の黄セミさんが担当。彼女の最後のスピーチと全員で歌う「手に手つないで」の締めくりに、参加したロータリアンからは「涙が出るほど感動した」との声も聞かれました。

